

「北空知」川づくり懇談会 ニュース 第2号

平成18年2月22日、平成17年度第2回「北空知」川づくり懇談会を開催しました。



第2回「北空知」川づくり懇談会を、以下のとおり開催しました。

- ・日時：平成18年2月22日（水）
14:00～16:00
- ・場所：妹背牛町 コミュニティプラザ

当日は、委員14名（代理出席2名含む）が出席しました。座長挨拶の後、事務局より石狩川流域委員会と河川整備計画についての情報提供、第1回現地見学会の報告と主な意見の紹介がありました。

次に、「雨竜川流域の概要について」と「雨竜川の河川整備について」の説明が事務局からありました。その後、各委員の方々による自由討議を行い、本年度の懇談会を閉会といたしました。

「北空知」川づくり懇談会の委員（五十音順）

一宮 克彦	(深川青年会議所前理事長)
植田 顕治	(秩父別町山川草木を育てる会副会長)
小林 四郎	(幌加内町そば活性化協議会事務局長)
佐々木 新一	(深川土地改良区参事)
高島 光雄	(雨竜町みどり少年団長)
波連 賢司	(深川野鳥の会)
前林 哲夫	(前妹背牛町議会議員) (★副座長)
渡辺 正夫	(沼田奔川河川改修事業整備促進期成会会長)

行政担当者

小鍛治 和照	(妹背牛町 建設課統括官)
扇谷 政美	(北竜町 建設課長)
田湯 俊博	(雨竜町 産業建設課技術長)
戸田 保	(秩父別町 建設課長)
村端 裕	(深川市 都市建設課長)
神 憲彦	(沼田町 建設課長)
道添 良則	(幌加内町 建設課長)

河川管理者

関田 透	(北空知河川事業所長) (★座長)
------	-------------------

オブザーバー

高花 建治	(札幌土木現業所 深川出張所長)
大友 富美男	(空知支庁 北部耕地出張所長)

雨竜川の河川整備について

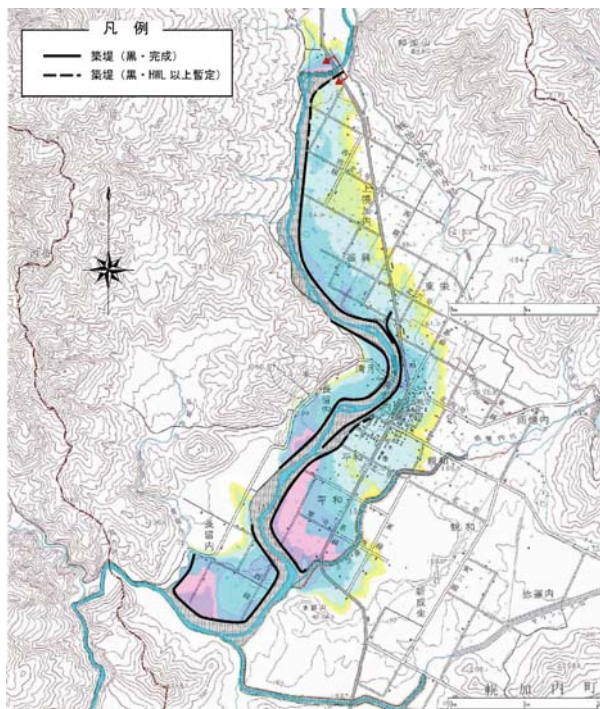
雨竜川の治水工事は、沼田達布新水路（昭和30年完成）に始まり、堤防整備等が進められてきましたが、昭和50年、56年に洪水被害を受け、甚大な被害のあった昭和63年の洪水をきっかけとして雨竜川捷水路（平成14年完成）および大鳳川新水路が整備されました。

また、雨竜川の下流にあたる妹背牛町、雨竜町、北竜町、秩父別町では、堤防整備が現在までにはほぼ完了しており、今後、中上流にあたる沼田町、深川市、幌加内町などを中心に河川整備が進められる予定です。

第2回懇談会での主な意見

懇談会では、雨竜川の今後の河川整備のあり方について自由討議を行いました。主なご意見を紹介いたします。

- ・ 幌加内町の山間部では川幅が狭く、河床が高い部分があるため100mm位の降雨でも水位が高くなる地域がある。昔から問題となっている地域であり、近年の異常気象により浸水被害が懸念されるため河川改修を実施してもらいたい。色々な課題や条件があると思うが、河床が下がると面積にして約700町の農地が助かるので今後検討願いたい。
- ・ 浸水想定区域図は、このような懇談会だけに紹介するのではなく、地域住民に説明していくべきだと思う。
- ・ 幌加内町では約6割の農家がそばを作っている。稲は4時間位なら浸水しても回復するが、そばは1時間程度浸水すると回復できなくなる。生育過程の早い時期では浸水するだけで枯れることもあるため、このような浸水想定区域図があるならもっと地域住民に知らせてほしい。



浸水想定区域と築堤整備状況図(部分抜粋)

- ・ 沼田奔川は河川改修が始まって10数年経過しているが、完成したところは良好な状況となっており、関係者の方々に感謝している。
- ・ 下流の河畔林がかなり大きくなっている。野鳥への配慮もあるが、治水的に影響のある部分については伐採する必要があると思う。地域住民からも伐採の要望があがっているので、対応をお願いしたい。
- ・ これまでは、堤防整備が先で内水対策が後回しになっていたようだが、今後は内水対策もあわせて同時に整備してほしい。
- ・ 最近では、川へ行っても魚が少なく、学校でも川遊びが禁止されているため、雨竜町みどり少年団では川での活動はあまり行っていない。昔のように川で魚を釣ったり、鳥を追いかけたりするような遊びもしていないが、安全に遊べる場所や施設があれば状況も変わると思う。

次回のお知らせ

本年度の懇談会は、今回をもちまして終了しますが、来年度以降も継続して開催する予定です。

開催日が決まりましたら、以下の場所に開催案内を提示します。

懇談会は公開で行っております。どなたでも傍聴できますので是非ご来場下さい。

- ・ 市町の揭示板
- ・ 北空知河川事業所の揭示板

ご意見やお問い合わせは、事務局
石狩川開発建設部 北空知河川事業所
〒097-0502 雨竜郡妹背牛町字妹背牛 482-1
TEL 0164-32-2470
FAX 0164-32-3449
まで、お気軽にお寄せ下さい

石狩川開発建設部では、現況の河道状況等を勘察して、石狩川では概ね150年に1回程度、雨竜川では概ね100年に1回程度起こる大雨が降ったことによりはん濫した場合の浸水状況をシミュレーションした結果(浸水想定区域図)を公表しています。